

■いつまでも暮らせるまちになるために

緊急通報システムで高齢者を見守り

75歳以上で、一人暮らしの方などは、緊急通報システムを無料で貸与します。

また、65歳以上で緊急時に家族の支援が受けられない方は、月額1,870円で利用でき、緊急時以外にも、健康上の不安なども相談できます。

【問い合わせ】高齢福祉課

令和5年度新規加入者

63件

令和5年度末の稼働数

296件

補聴器購入費の助成

加齢に伴い両耳の聴力が軽度～中程度低下しており、補聴器の使用により改善すると医師が判断した方に、片耳分の購入費用の2分の1（最大3万円）の助成を令和6年6月から開始しました。

【問い合わせ】高齢福祉課

令和6年度申請件数

16件

令和6年10月末現在

避難力の強化

市と茨城県が共同で避難力強化訓練を実施しました。訓練は、台風の影響で降水量が増加し、内水氾濫の危険性が高まったことを想定したもので、災害対策本部の運営や情報伝達、住民の避難行動、要支援者への避難支援などを円滑に行うことを目的に各団体が連携して実施しました。

【問い合わせ】防災危機管理課



災害からの逃げ遅れを防ぐ

災害時に、1人での避難が困難な高齢者や障がいがある方の逃げ遅れを防ぐため、市では、支援が必要な方1人1人の避難のための計画である、個別避難計画の作成を推進しています。

【問い合わせ】防災危機管理課

内水氾濫対策

防災の新たな取り組みとして、水田の多面的機能を活用した「田んぼダム」の推進を図り、内水氾濫対策として防災効果を発揮する取り組みも進めています。

【問い合わせ】農業政策課

空き家の利活用を推進

潜在的空き家を把握するために全戸調査を実施しており、令和5年度は97件の空き家が発見されました。

空き家所有者には、利活用してもらうために空家等バンクへの登録を勧めたり、適切な管理についての相談を受けています。

また、システムを活用して可視化した空き家を相互に確認することで、迅速な対応を図っています。

【問い合わせ】都市計画課

令和5年度相談件数

197件



地域公共交通の再編

JOYBUSの運行開始を機に、公共交通の再編を進めています。

JOYBUSの増便や予約型乗合交通「ふれあい号」の予約・配車システムをAI化するなど、利便性の向上に努めています。

また、すでに実施しているつくば市、つくばみらい市とのコミュニティバスの連携をはじめ、さらなる広域的交通ネットワークの形成に取り組みます。

【問い合わせ】都市計画課



令和6年4月から運行開始

都市を創造するまちづくり

人口減少や少子・高齢化などの社会動向の変化や災害リスクと共存できる環境づくりに対し、集約化と持続可能性を踏まえたコンパクトなまちづくりを基本とした都市計画マスタープランを策定しました。

今後は市の将来都市構造の実現のため、ロードマップに基づき戦略的に都市づくりを進めていきます。

【問い合わせ】都市計画課

